受験対策　三平方の定理（３年生　７章）

【０】出題傾向　…　毎年 A、B 日程両方出題

別紙の「　傾向と対策　」を参照。

【１】教材説明

A　基本問題練習　･･･入試問題を戦うための重要基礎知識です。頑張ろう＾－＾
B　公立過去問　…かなり重量級の問題です。練習から時間配分を意識しよう。
C　公立類似問題　･･･過去問よりやや易問です。乗り越えると B の２問正解へ道が見えてきます。
D　重要問題（難関私立対策）･･･公立ではあまり見ない形式です。私立過去問のサポートに。

【２】優先順位表

◎　＝　最優先　、　△　＝　挑戦（◎の次の段階）　、　▲　＝　優先順位低い
無印　＝　◎や△が解けない場合は、ここへ戻る。

	プリント	Ⅰ　公立準備	Ⅱ　公立平均	Ⅲ　公立８割	Ⅳ　難関私立
A	基本問題	◎	◎		
B	公立過去問	①◎②▲	①◎②▲	①◎②△	①◎②◎
C	公立類似	△	◎	◎	
D	重要問題	▲	▲	△	◎

【３】先生たちより

～全員へ～　①②の２問のうち、全員１問取れるレベルの年もあれば、２問とも時間がかかり過ぎる年もあります。ゆえに、**理解度によっては深追いせず、①のレベルの定着を目指し、他の単元に学習時間を使う選択もあり**だと思います。

Ⅰ　公立準備の人たちへ

君の壁は、「　計算　」です。方程式の計算のルールや平方根の計算方法が入ってきます。この単元だけで実は、復讐もできるのです。我慢強くいけば、今までの計算もできるようになるのです♪途中式（二次式）を書き、『　計算ルールを理解し、正確な答えに導く力をつけること　』を目指しましょう。

Ⅱ　公立平均点を目指す人たちへ

素早く計算できる君の壁は、「　問題での使い方　」です。三平方は、いきなり定理を用いて正解にたどり着くわけではないです。三平方の定理は、補助線や比を用いていく流れの中で直角三角形が生まれ、計算として使う道具だと思っていて下さい。三平方は道具。目標は『　使うまでの流れ　』を理解すること。そして、『　相似な三角形から長さや比を求める作業（式で求めること）に慣れること　』です。

Ⅲ　公立８割以上を目指す人たちへ

２問目を取りたい君の壁は、「　(1)相似な図形の発見と補助線の用い方　」です。重要なことは何を生み出すための補助線なのかを考えてから引くということです。解説は１通りしかありませんので、仲間の解き方を学び、解法の幅を広げ、スピードや楽しさにつなげていきましょう。図形・計算のすべての知識と素早い構成・計算力があってこそいける２問正解。とても厳しい壁ですが、君ならできる！

Ⅳ　難関私立を目指す人たちへ

私立は３，４問出ることも多いです。君の壁は、「　小問のつなげ方　」だと思います。(2)が(3)を手際よく解く大きなヒントになっている場合が多いです。単発で考えず、『　どのように生かしているのか　』を解説から学ぶ学習が効果的です。学校によっては公立に似た問題もあれば、一見難しそうに見える問題もあります。志望校の傾向を知り、公立高校の学習がどれだけ生かせられるかも考えて学習しましょう。